

文化・芸術

《名画の扉》

大川美術館コレクション展から



「浅間春雪」

1955（65年）ころ、絹本彩色
42・5センチ×51・5センチ

山本丘人（1900～86年）

少年時代から詩人が制作された1955
憧れた山本丘人（きゅうじん）は、詩を詠みた
くなるような風景や目
らの心に浮かんだ美し
い情景を、言葉の代わ
りに絵画によって表現
集めました。また、こ
した日本画家です。日
の時期は北軽井沢にも
本画界全体が変革を求
アトリ工を構えてお
められた戦後には、創
り、本作はその周辺か
造美術（現在の創画会）
ら眺めた構図と考えら
を設立して新しい時代
れます。

の日本画を求める動き
清冷な空気の中でか
の先頭に立ち、詩心に
すかに近づく春の足音
富んだ独自の境地を切
に耳を澄まし、近代的
りひらきました。

雪化粧した浅間山を
な造形感覚と骨太な線
題材とした本作は、題
により、噴煙を上げる
名の「春雪」からまさに
浅間の雄大な姿を力強
今ごろの季節に描かれ
く描き出した作品で
す。

（佐藤）

た作品でしょう。本作